

令和 6 年度 小浜市内の道路交通騒音・振動調査結果の概要

1. 調査目的

「騒音規制法第 18 条および振動規制法第 19 条の規定に基づき、小浜市内の主要幹線交通を担う道路に面する地域において、騒音・振動レベルの測定を行うとともに、必要な評価を行うことで、市内の自動車交通による騒音および振動の状況を把握すること」を目的とする。

2. 騒音・振動レベルの状況

2-1. 令和 6 年度に実施した自動車騒音および道路交通振動測定結果は、表 1 のとおりである。

表 1

調査路線名	測定地点	時間の区分	騒音測定結果	幹線交通を担う道路に近接する空間に係る特例		振動測定結果	道路交通振動の要請限度
			L _{Aeq} (dB)	L _{Aeq} (dB)			
一般国道 27 号線	伏原	昼間	69	70	75	38	70
		夜間	64	65	70	29	65
一般国道 162 号線	大手町	昼間	58	70	75	29	70
		夜間	46	65	70	< 25	65

☆ L_{Aeq} : 等価騒音レベル、L₁₀ : 80%レンジ上端値。

(1) 騒音レベル測定結果について

一般国道 27 号線の道路端における騒音レベルは、昼間・夜間共に道路に面する地域のうち幹線交通を担う道路に近接する空間に係る特例（昼間：70dB、夜間：65dB）を下回った。また、一般国道 162 号線についても昼間・夜間共に近接空間の特例を下回った。

なお、両地点とも、幹線交通を担う道路に近接する区域に係る限度の特例（昼間：75dB、夜間：70dB）を昼間・夜間共に下回った。

(2) 振動レベル測定結果について

振動レベル測定の結果、両地点とも、道路交通振動の要請限度：第 2 種区域（昼間：70dB、夜間：65dB）を昼間・夜間共に下回った。

2-2. 令和6年度に実施した自動車騒音の面的評価における結果は、表2のとおりである。
 なお、調査対象路線図を図1に示す。

表 2

調査路線名	測定地点	評価区間	騒音測定結果		評価対象住居等戸数 (戸)	環境基準超過戸数 (戸)	環境基準達成率 (%)
			L _{Aeq} (dB)				
一般国道 27 号線	① 伏原	湯岡 ～ 岡津	昼間	69	205	0	100
			夜間	64		0	100
一般国道 27 号線	— 鯉川	岡津 ～ 鯉川	昼間	—	6	0	100
			夜間	—		0	100
(全体)			昼間		211	0	100
			夜間			0	100

☆ [昼間]：6時から22時までの間、[夜間]：22時から翌日の午前6時までの間。

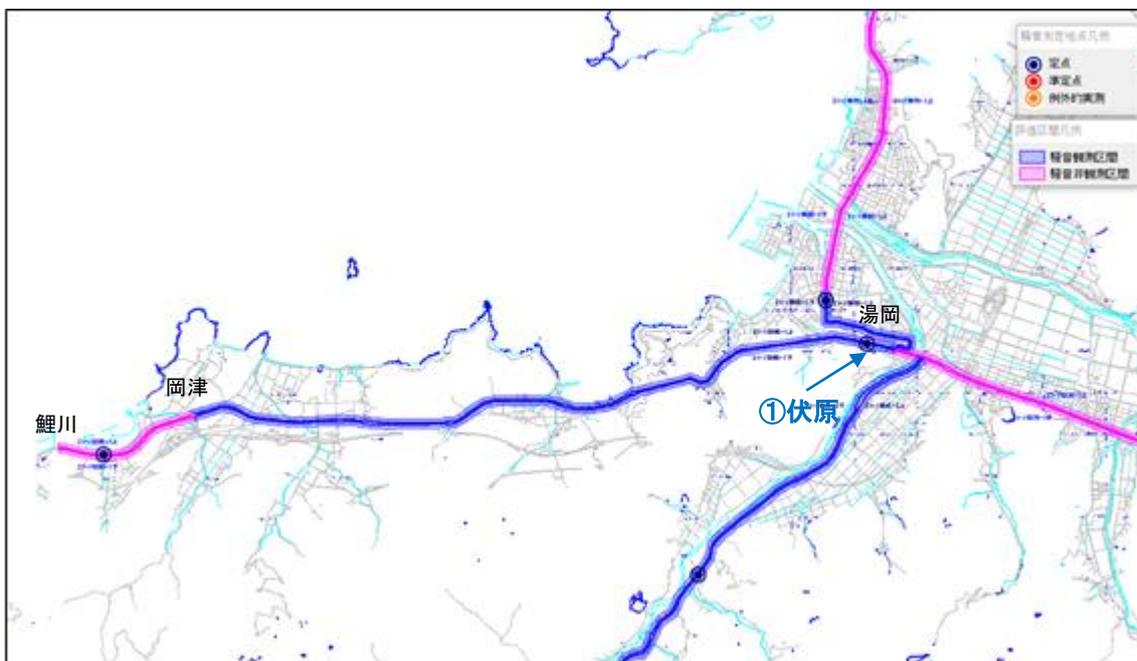


図 1. 調査対象路線図

(1) 面的評価による環境基準の達成状況

面的評価による環境基準の達成状況は表3のとおりである。

面的評価を実施した評価区間における道路沿道（道路端から50mの範囲）の住居等は、湯岡～岡津で205戸、岡津～鯉川で6戸であった。環境基準で定める昼間（6:00～22:00）及び夜間（22:00～翌日6:00）それぞれの時間区分において環境基準を達成していた戸数は205/6戸であり、環境基準達成率は昼間・夜間共に100%であった。

表3

調査路線名	測定地点	昼間：環境基準達成率（%）			夜間：環境基準達成率		
		近接	非近接	全体	近接	非近接	全体
一般国道27号線 （湯岡～岡津）	①伏原	100	100	100	100	100	100
一般国道27号線 （岡津～鯉川）	（伏原） *準用区間	100	100	100	100	100	100

☆ 近接する空間とは、道路端からの距離が2車線以下の道路にあつては15メートルまで、2車線を超える道路にあつては20メートルまでをいい、特例の基準が定められている。